ISSN 2435-0532

尚絅子育て研究センター

児やらい

koyarai vol.20 2023

Child-rearing to generate mutual recognition
Child Studies Center at Shokei

第20巻　2023年

は　じ　め　に

令和５年４月１日、「こども家庭庁」が発足しました。国の財政が厳しい中、新しい省庁が創設されたのはそれだけ子ども達を取り巻く厳しい現実があるからでしょう。虐待、いじめ、自殺は過去最多を更新しています。ユニセフ（国連児童基金）が 38 の先進国を比較したリポートによれば、日本の子ども達の精神的幸福度は、下から２番目の 37 位だったそうです。

新たな子どもの施策の推進に期待が高まる中、奇しくも、尚絅大学では、「こども教育学部」が開設されました。短期大学部幼児教育学科が、約 50 年間にわたり、保育者養成を担ってきましたが、特別な支援を必要とする子どもへの対応など、保育現場からの新たなニーズに応えていくためです。今後は、こども教育学部と幼児教育学科の二本柱で、熊本の子ども達のよりよい育ちを保障するような保育が展開されるよう役割を果たして参りたいと思っております。

さて、今年も８月に、第 22 回公開シンポジウムを開催することができました。静岡大学副学長、静岡大学教育学部教授の鎌塚先生から「一人ひとりの発達に寄り添った支援―発達の連続性を踏まえた保育・幼児教育のあり方とは―」をテーマに講演いただきました。幼児期からの支援の大切さ、困っている本人を取り巻く集団をどう育てていくのか、小学校に育ちを繋ぐことについて深く考えることができました。インクルーシブ保育は関心の高いテーマでしたので、多くの先生方が熱心に参加してくださいました。新たな気づきを得られたのではないでしょうか。参加が難しかった先生方は、本稿に、開催報告を収録しておりますので、ぜひ一読いただければと思います。また、定例で開催している乳幼児保育研究会も、オンライン併用で、継続しております。おかげさまで、毎回、貴重な実践報告を下に、多くの先生方と学び合っております。乳幼児保育研究会の報告（令和４年度）についても本稿に掲載しております。

このたび、『児やらい』は、第 20 巻を発刊することになりました。本学こども教育学部及び幼児教育学科の教員を中心に執筆し、多様なテーマの論文が収録されております。多くの皆様にお読みいただき、ご意見やご指導をいただければと思います。

今後も、尚絅子育て研究センターは、保育・教育・子育ての現場の皆様と学び合うことを大切にし、「こどもまんなか」の社会の実現に向けて貢献して参りたいと思います。

令和５年 10 月２日

尚絅子育て研究センター長

片　桐　真　弓

目　　次

はじめに

Ⅰ．論　文

1　造形教育におけるテクスチャー再考Ⅱ …… 3
～幼稚園教育要領（平成29年告示）との照合と価値概念の考察～
坂本　健

2　学生の子育て意識の変容に関する研究 …… 15
－2005年と2021年の経年比較を中心に－
片桐　真弓

3　小学校図画工作科における鑑賞教育の発展に向けた課題 …… 27
栗川　直子

4　音の体験を深める環境構成の研究 …… 37
－サウンドボードの提案－
中山　健・永田　真央

Ⅱ．研究ノート

1　題材を設けない一斉描画活動における環境設定と援助 …… 51
－ある認定こども園４歳児と５歳児の事例－
大江　登美子・青沼　未来

2　幼稚園教育要領における領域「環境」の内容の変遷に関する一考察 …… 67
佐竹　貴明

Ⅲ．尚絅子育て研究センター事業報告

1　令和４年度　尚絅子育て研究センター事業報告 …… 83

2　令和４年度　乳幼児保育研究会報告 …… 86

3　令和５年度尚絅子育て研究センター事業計画 …… 98
尚絅子育て研究センター長　片桐　真弓

Ⅳ．第22回公開シンポジウム報告

第22回公開シンポジウム開催報告 …… 101
矢野　潔子

投稿規程

編集部会規程